



人権まんが解説

ハンセン病は、「らい菌」という非常に感染力、発病力の弱い細菌による感染症です。

現在では早期発見と適切な治療で障

がいを残すことなく治ります。しか

し、かつては家族の中で発病する例

がみられ、遺伝病と誤解された時代

もありました。感染すると、手足や

顔面など服から出る部位が変形する

ことから、偏見・差別をされました。

岡山県には、国立ハンセン病療養所

「長島愛生園」と「邑久光明園」と

いう2つの国立療養所があります。

現在でも500名を超える方が生活

を送っていらつしやいます。島には、

長年の運動により1988年に橋が

架けられ、この邑久長島大橋はハン

セン病療養所と社会を一本の道でつ

なぐ「人間回復の橋」と呼ばれてい

ます。

現在、療養所で生活されている

方々の病気は治っていますが、手足

の障がいなどの後遺症がある上に、

高齢化もすすんでいるため療養所を

離れて生活することは難しい状況で

す。そのため、地元の小学生や、地

域住民、県内外各地の方が訪れ、

様々な交流が進められています。日

本での年間の新患者はいませんが、

世界では、栄養状態が悪い等の環境

から抵抗力が下がりハンセン病を発

病する方々がおられます。無関心で

はなく、ハンセン病問題に関心を持

ち続けて正しく理解し、まわりの人

に伝えていくことが私たちにできる

ことです。

文化会館講座紹介

笠岡市吉田文化会館では、市民の皆さまが楽しみながら受講できる講座を開設しています。お気軽にご参加ください。

開講中の講座

- ・子ども硬筆
- ・子ども茶道
- ・茶道
- ・いけばな教室
- ・木彫教室
- ・手芸教室

開講時間、費用等の問合せ：

吉田文化会館 ☎086-1069

ご注意ください 「えせ同和行為」

同和関係団体を名のり、県内事業所等の長に対して、個人的に高額な同和関係図書の購入を要求する事例が発生しています。

【事例】：同和関係団体を名のり、『〇〇周年の記念誌を作成したので、購入してほしい。組織としてはなく、個人的にお願いしている。1冊7万円のところ5万円かどうか。』などと同和関係図書の購入を要求された。

こうした「えせ同和行為」に対しでは、次の対応例を参考にしていた

だき、きつぱりと断るとともに、これに関する情報を一報ください。

【対応例】：同和関係の図書であっても、一般の図書の扱いと何ら変わりありません。「いりません」ときっぱり断ってください。断りの意思表示をあいまいにすると、後で争いのもとになります。

また、断る理由まで言う必要はありません。理由をつけて断ると、その理由自体が議論や争いの対象となり、相手につけ込まれるすきを与えかねません。

また、岡山県が作成した「えせ同和行為」対応マニュアル『えせ同和行為断固拒否』がホームページ(http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?h_id=43797)に掲載されていますので、参考にしてください。



問合せ

岡山県 人権施策推進課

☎086(226)7406

よしだ文化会館だより ④